

みなみっ子だより

さりげない優しさに元気をもらっています



6月に入りました。今年は梅雨に入るのが早くて、校庭の花や木々は恵みの雨に嬉しそうです。校長室の北側の軒下には、紫陽花が早くもかわいいピンク色の花を咲かせてくれています。雨があまり降り込まない場所なので、土壌がアルカリ性なのでしょう。紫陽花の花の色は開花から日を経るごとに変わってくるので、今からちょっと楽しみです。

さて、「人権の花」でいただいた綿やマリーゴールドの種からも、かわいい芽が出てきています。新しい命の誕生です。毎朝、水やりを忘れずにしてくれている子どもたち。その姿を見るととても嬉しい気持ちになります。ある時、せっかく綿の芽が出たのに、大雨の後だったからでしょうか、茎がぐたっとなって、地面に横たわっていました。すると、水やりに来ていた1年生の子が、心配そうな顔で覗き込んでいます。そして、茎をそっと持ち上げて、何とか立たせようとしていました。植物に対する愛情が満ち溢れているその姿に、何ともいえない気持ちになりました。その子はきっと、植物だけでなく、お友だちやおうちの人にも、同じように優しい気持ちで、日々接していることなのでしょう。そんな子ども達の姿から、私はいつも元気をもらっています。

元気をもらうといえば、登校班の子ども達の姿からもたくさんの元気をもらっています。例えば、6月のある雨の日のこと。バスが学校に到着し、次々と子どもたちが降りてきました。雨はまだ強く降っています。子どもたちはすぐさま傘をさしました。ところが、1年生のA君は、傘をさすこともできず佇んでいました。その様子に気が付いた登校班の班長さんが、自分の傘にその子を入れてあげて、「傘をさすんだよ」と優しく声をかけ、一緒に傘を開くのを手伝ってくれていました。自分が濡れるのも気にしないで、1年生に優しく関わってくれているその姿に、とても感動しました。また、遠くから徒歩で通学してくる登校班の班長さん。後ろを何度も振り返りながら、1年生の歩調に合わせてゆっくり歩いてくれています。1年生は通学途中に見つけた石ころや、草花や虫に夢中になって、しゃがみ込んだり、あっちへ行ったりと目が離せません。そんな1年生に根気強く声をかけ、時にはランドセルを持ってあげたりしながら安全に連れてきてくれています。

そんな姿を見ると本当に、みなみっ子はすごいなと感心します。自慢の子ども達。子ども達の優しさに出会う度に心がほっこりします。



チコ先生（ALT）との授業が始まりました



アフリカのカメルーン出身のチコ先生は、日本語も、とてもお上手です。趣味はサッカーや歌を歌うこと。好きな食べ物は焼肉やお好み焼きだそうです。これから3月まで、火曜日ごとに指導にきてくださいます。毎回の授業を子どもたちはとても楽しみにしています。

今年度、本校は英語教育推進指定校に認定され、10月に文部科学省の方を講師にお招きして研究授業を行います。ふだん頑張っている姿を見てもらえたらと思っています。

裏面あり

図書委員会による読み聞かせ

図書委員会による、読み聞かせが始まりました。それぞれの発達段階に合わせて、みんなが興味や関心をもてるだろう本を選んでくれていました。とても上手に読んで、どの学年の子ども達も、どっぷり本の世界に浸っていました。図書委員会のみなさん、ありがとう！



今日は何を
読もうかな？



ヤゴ救出作戦（5月25日：5年生）

5年生は総合的な学習の時間で、環境問題に取り組んでいます。今年度は導入の学習として、岡山県自然保護センターの橋本先生をお招きし、プールの水の中に生息しているヤゴを救出する活動に取り組みました。一年中水を張っているプールは、ヤゴなど昆虫たちの貴重なすみかになっています。そこで、清掃前のプールに生息しているヤゴなどの小さな命を救う学習を行いました。その活動を通して、「命の大切さ」と「自然の生態系」について考えることができました。



橋本先生（ヤゴ先生）



いもづる植え（6月2日）

いきいき班で、いもづる植えをしました。今年度も、ボランティアとして重松さんが来てくださいました。手書きの絵を用意して、とても分かりやすく子どもたちにお話をしてくださいました。畑に着くと、6年生の子ども達が、「こうするんよ」と手をとって、1年生に優しく教えてくれていました。その姿がとても微笑ましくて、心がほっこりしました。



おいしいお芋が
たくさんできま
すように

